

独立行政法人中小企業基盤整備機構平成25年度第2回契約監視委員会

【議事要旨】

平成26年1月
独立行政法人中小企業基盤整備機構

1. 日 時 平成26年1月29日（水）13:30～16:00
2. 場 所 独立行政法人中小企業基盤整備機構 第一役員会議室
3. 出席者 （委員）井上委員長、吉野委員、渡邊委員、中本委員、大槻委員
（機構）青木理事、他

4. 議 事

○議事に先立ち、青木理事から開会挨拶が行われた。

(1) 平成25年度（4月から9月まで）の契約状況について

- ・当局側から、平成25年度上期（4月～9月）の契約概況、調達手続きの改善並びに仮施設整備工事 請負業者別・県別契約状況について説明があった。

主な意見・質問	回 答
・特段の意見等はなかった。	—

(2) 個別案件の点検・審議について

- ・個別案件については、今回の審議対象期間の25年度4月から9月までの契約案件において一者応札・応募となった9件のうち、2回連続で一者応札・応募となった契約案件1件の他、各委員の点数付けにより選出した上位5件の契約案件（計6件）について審議された。

※案件毎の審議概要は、（別紙1・別紙2）を参照。

- ・公益法人に対する支出は該当なし

(3) 次回日程について

- ・事務局から次回委員会の日程等について説明があり了承された。

— 以上 —

○25年度4月から9月までの契約案件で、一者応札・応募となった9件のうち、2回連続で一者応札・応募となった契約案件（1件）

【平成25年度中小企業大の市場化テストに係るアドバイザー業務】	
主な意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・入札辞退者の辞退理由は実績がなかったということか。2回目の入札では緩和した要件に対して要件は満たしていたが、入札を辞退したということか。 ・初回と2回目の両方に参加した者の辞退理由は聞いたか。 ・大の市場化テストは既に導入されており、改めて外部機関のアドバイザーが必要なのか？ ・これから機構が行っていく業務において、このようなノウハウを機構の中に蓄積していくという想いがあれば、アドバイザー業務は一時的なものとする。アドバイザー業務として発注するのではなく、機構自ら行うべきものと思われる。 ・まず、最初の市場化テストを実施するにあたり、アドバイスを受ける。このプロセスの中で外部からノウハウを吸収するものと切り分けて考えられる。ノウハウを蓄積した後は、機構自ら行う業務と考えて良いか。 ・本件は初回の説明会参加者が本業務に相応しい事業者だと思われる。初回の説明会参加者が2回目の入札に参加をしなかった理由を確認して頂きたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初回の入札では業務実績の要件は必須項目としており、その実績がなかったことが入札辞退の原因の1つと見られる。2回目の入札では、要件は満たしていたものの、辞退したものと思われる。 ・当該者から回答を得ていないが、その他の業者から実績要件が厳しかった、準備期間内に人手を集めることができなかつた等が辞退の理由と聞いているため、同様と思われる。 ・大の市場化テストは変遷しており、今回は委託業務内容等の仕様が大幅に変わる可能性があった。より良い実施要項等を作成するため、外部専門家の知見を必要としたものである。 ・市場化テストの対応はすべてを外部に依頼しているわけではなく、機構自ら考える部分もあり、その一部をコンサルティング会社に考えてもらい、それを持ちより内部で議論しより良いものにしていく。やりとりの中で、ノウハウが蓄積し、最終的には外部に依頼をしなくてもよくなるのが理想と考える。 ・アドバイザー業務は継続して発注しているが、市場化テストの対応は機構が主体的に行っている。一方、内閣府から業務フロー・コスト分析の対象として選定されており、新しい業務も対応が必要である。以上を踏まえ、3年後に向かって、来年度に複数年のアドバイザー業務を発注することを検討している。 ・ご意見を踏まえ、対応を検討したい。

○25年度4月から9月までの契約案件で、一者応札・応募となった9件のうち、各委員の点数付けにより選出した上位5件の契約案件

【「主要ベンチャーキャピタルの企業実態調査」に係る請負業務】	
主な意見・質問	回 答
<p>・本件はベンチャーキャピタルが出したくない情報を調査するということなので質の高さが要求される業務であるが、一者応札の改善には、仕様書の改善も含め工夫して頂ければ良いと思う。</p>	<p>・本調査はベンチャーキャピタルという特別な業態への調査である。調査先数／調査期間と（企画競争による）契約上限価格の関係が原因と思われる。</p> <p>・ご意見を踏まえ、検討していきたい。</p>

【 高度化融資システム改修及びデータ移行業務 】	
主な意見・質問	回 答
<p>・本日ご説明頂いた調達改善のマニュアルに基づき、契約事前確認公募に係る取り扱いについてご説明を頂きたい。</p> <p>・本件はシステムに関するものであり、意見は前回の委員会で既に出尽くしている。マニュアルに従い、契約事前確認公募を採用する場合の運用ルール（現在請負っている者しかいない）の取り扱いはより慎重に行って頂くとともに、システムに係る業務発注に係るリスクヘッジ（システム停止等のリスク対応）を念頭において検討していただきたい。</p>	<p>・本件は今後、競争相手が出てこないということであれば、契約事前確認公募による調達を検討したいという趣旨である。</p> <p>・ご意見を踏まえ、検討していきたい。</p>

【 高度化融資システム用サーバ機器等】に係るリース契約 】	
主な意見・質問	回 答
<p>・システム改修に携わっていた者に有利ということはないか。</p> <p>・リース会社の応募が一者のみでは少なく感じる。リース会社へヒアリングをすると良いと思う。</p>	<p>・本リース契約により調達する機器は普通の汎用機であり、スペックを開示しているため、特定の者に有利ということはない。</p> <p>・ご意見を踏まえ、リース会社にヒアリングしていきたい。</p>

(別紙2の続き)

【 中小企業総合展2013 in Kansai 内「海外展開スクエア」に係る業務請負 】	
主な意見・質問	回 答
<p>・ 今後は実施予定がない業務とのことだが、マニュアルにある仕様書改善で仕様書の完成度を高めてはどうか。</p> <p>・ 本件は説明会に想定業者が多く参加している中、一者応札となった案件である。原因分析まで行っているため、今後の改善方針まで記載した方が良い。他のイベント案件の改善にも資すると思われる。</p>	<p>・ ご指摘の件は、別の海外関係業務や地方で同様な業務もあると思われるため、仕様書の改善対応は考慮したい。</p> <p>・ ご意見を踏まえ、今後の改善方針についても記載したい。</p>

【 「平成25年度北海道中小企業総合展示商談会」開催に係る請負業務 】	
主な意見・質問	回 答
<p>・ メールを活用した参加者有無の確認など、工夫が必要ではないか。</p> <p>・ 本件の調達手続きに関して、効率化は図られつつあるが、まだゴールではないと思う。入札公告を想定される業者がすべて見ているということではないと思う。積極的にこちらから働きかけをすることが必要。すべての改善が図られてゴールと思われる。効率化はその追求の結果である。</p>	<p>・ 今後はメールを活用しながら参加者有無を確認するなど、前向きに対応していきたい。</p> <p>・ ご意見を踏まえ、更なる改善に努めたい。</p>